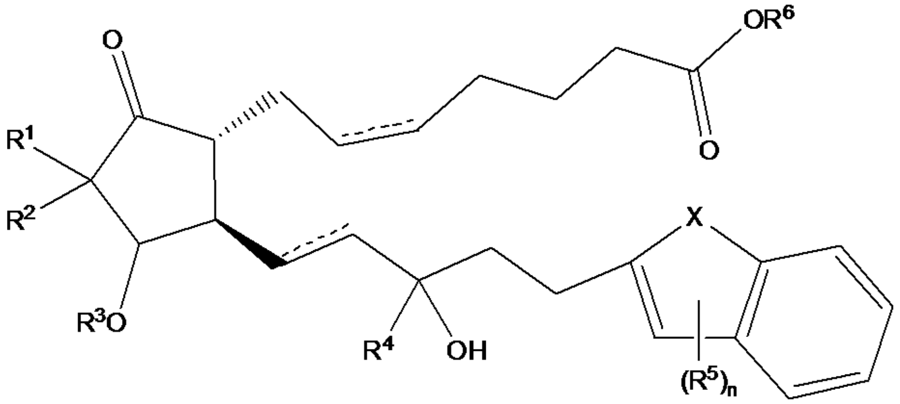
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公表番号】特表2013-536183(P2013-536183A)
【公表日】平成25年9月19日(2013.9.19)
【年通号数】公開・登録公報2013-051
【出願番号】特願2013-523219(P2013-523219)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/559　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5575　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4025　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/196　　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/49　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/46　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/69　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 8/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/421　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/559
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１２
Ａ６１Ｋ　31/5575
Ａ６１Ｋ　31/4025
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/5377
Ａ６１Ｋ　31/196
Ａ６１Ｑ　19/08
Ａ６１Ｋ　 8/49
Ａ６１Ｋ　 8/46
Ａ６１Ｋ　 8/69
Ａ６１Ｋ　 8/36
Ａ６１Ｋ　31/421

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月29日(2014.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

【化１】



の構造を有する化合物の治療的有効量を含有する皮膚の傷を治療する為の組成物であって、

式中、各点線は二重結合の有無を表し；

R^1、R^2、R^3及びR^4は、各々独立して、Ｈ及びC_1-C_6線状アルキルから選択され；

R^5は、ハロゲン、C_1-C_6アルキル、又はC_1-C_6アルケニルであり；R^6は、Ｈ、C_1-C_6アルキル、C_1-C_6アルケニル、その塩、又はそのアミンであり；ｎは、０～７であり；並びにＸはＳ又はＯである；

前記組成物。

【請求項２】

式中、R^4がＨであり、R^3がＨであり、並びにＸがＳである、請求項１に記載の組成物。

【請求項３】

式中、R^1及びR^2がCH_3である、請求項１に記載の組成物。

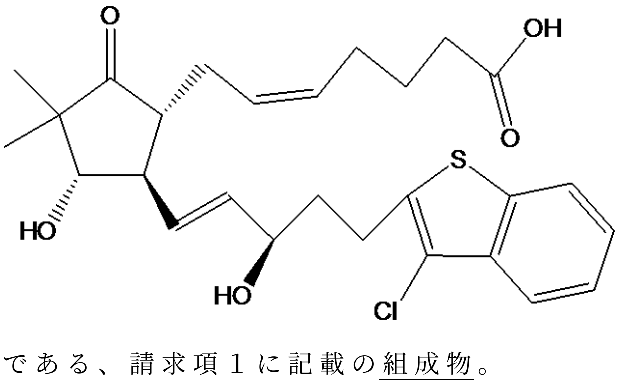
【請求項４】

式中、R^5がＣｌである、請求項１に記載の組成物。

【請求項５】

前記化合物が、

【化２】



である、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】

前記皮膚の傷が、浅傷、瘢痕、又はしわである請求項１に記載の組成物。

【請求項７】

皮下、真皮下又は経皮で、皮内若しくは局所的に投与される為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項８】

過形成性瘢痕、陥没瘢痕、伸展裂創、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される瘢痕型の形成を低減する為の、請求項６に記載の組成物。

【請求項９】

前記皮膚の傷が、しわである、請求項６に記載の組成物。

【請求項１０】

顔、首、腕部、胴体、背中、脚部、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される領域に投与される為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１１】

外科的切開、手術中、術後、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される時間で投与される為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１２】

瘢痕形成を最小限に抑える為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１３】

瘢痕形成を防止する為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１４】

しわ形成を防止する為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１５】

現存するしわの外観を軽減する為の、請求項１に記載の組成物。

【請求項１６】

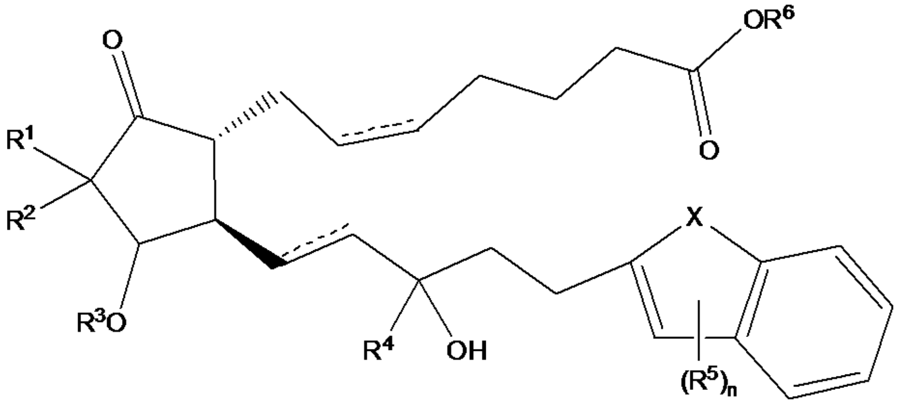
前記しわが、眉のしわ、目尻のしわ、鼻唇襞、目の下の線、眉毛間の線、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項９に記載の組成物。

【請求項１７】

前記浅傷の原因が、切開、裂傷、温度熱傷、化学的熱傷、剥離、穿刺創傷、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項６に記載の組成物。

【請求項１８】

【化３】

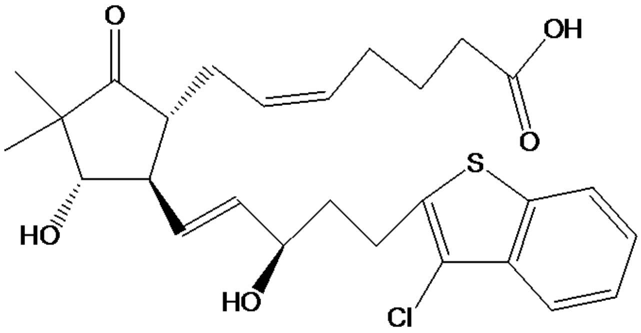


の構造を有する化合物の治療的有効量を含有する浅傷を治療する為の組成物であって、
式中、各点線は二重結合の有無を表し；
R^1、R^2、R^3及びR^4は、各々独立して、Ｈ及びC_1-C_6線状アルキルから選択され；
R^5は、ハロゲン、C_1-C_6アルキル、又はC_1-C_6アルケニルであり；R^6は、Ｈ、C_1-C_6アルキル、C_1-C_6アルケニル、その塩、又はそのアミンであり；ｎは、０～７であり；並びにＸはＳ又はＯであり；
前記浅傷が、前記組成物の投与がない場合よりもより正常に治癒する、前記組成物。

【請求項１９】

前記化合物が、化合物１

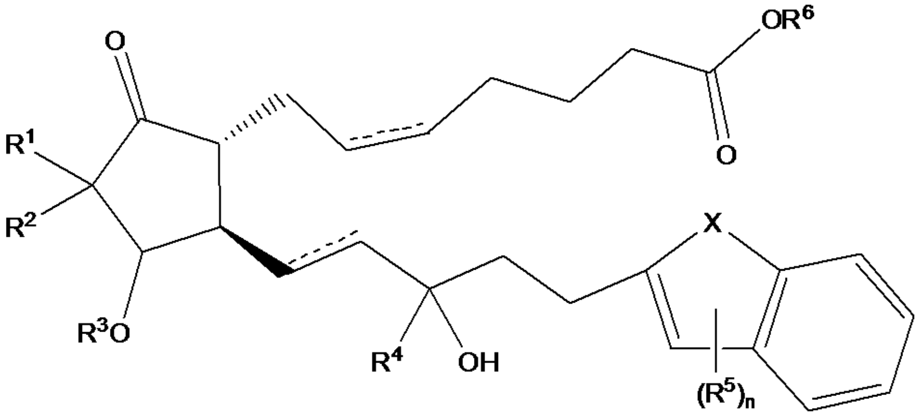
【化４】



である、請求項１８に記載の組成物。

【請求項２０】

【化５】



の構造を有する化合物の治療的有効量を含有するしわの外観を軽減する為の組成物であって、

式中、各点線は二重結合の有無を表し；

Ｒ^{1}、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}及びＲ^{4}は、各々独立して、Ｈ及びＣ$_{1}$－Ｃ$_{6}$線状アルキルから選択され；

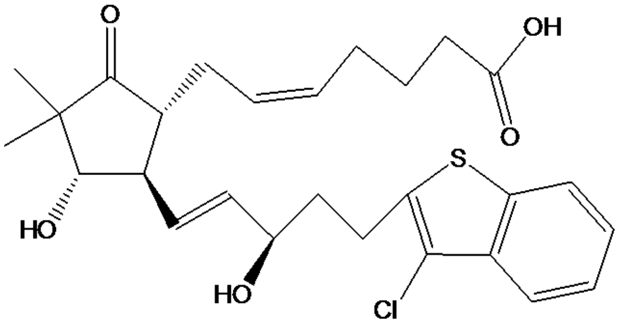
Ｒ^{5}は、ハロゲン、Ｃ$_{1}$－Ｃ$_{6}$アルキル、又はＣ$_{1}$－Ｃ$_{6}$アルケニルであり；Ｒ^{6}は、Ｈ、Ｃ$_{1}$－Ｃ$_{6}$アルキル、Ｃ$_{1}$－Ｃ$_{6}$アルケニル、その塩、又はそのアミンであり；ｎは、０～７であり；並びにＸはＳ又はＯである；

前記組成物。

【請求項２１】

前記化合物が、

【化６】



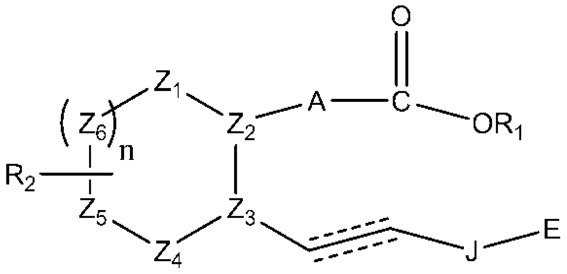
である、請求項２０に記載の組成物。

【請求項２２】

局所的に投与される為の、請求項２０に記載の組成物。

【請求項２３】

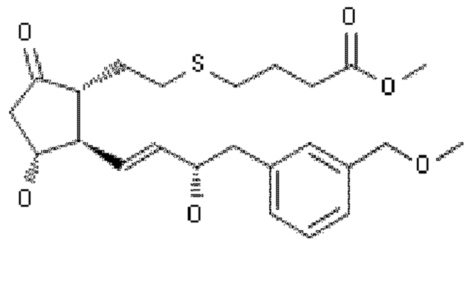
【化７】



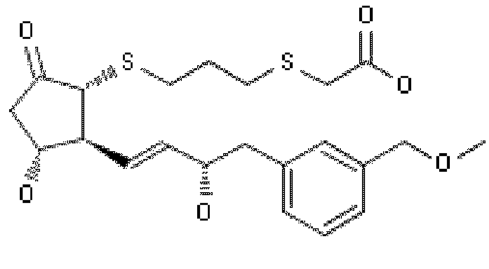
の構造を有する少なくとも１つ以上のＥＰ４作動薬の治療的有効量を含有する皮膚の傷を治療する為の組成物であって、
式中、Z_1～Z_6のそれぞれは、独立してＣ、Ｎ、Ｏ、又はＳであり；
Ａは、－（CH_2）$_6$－、又はシス－$CH_2CH=CH$－（CH_2）$_3$－であり、式中、１又は２個の炭素はＳ又はＯで置換されてもよく；又は、
Ａは、－（CH_2）$_m$－Ａｒ－（CH_2）$_o$－であり、式中Ａｒはアリーレン又はヘテロアリーレンであり、ｍ及びｏの和は１～４であり、並びに１つのCH_2はＳ又はＯで置換されてもよく；
R^1は、Ｈ、アルキル、シクロアルキル、オキシアルキル、ヒドロキシアルキル、アルケニル、オキシアルケニル、又はヒドロキシアルケニルであり；
R^2は、アルキル、ヒドロキシル、ハライド、又はオキソであり；
Ｊは、アルキル、シクロアルキル、オキシアルキル、ヒドロキシアルキルであり；
Ｅは、C_{1-12}アルキル、R_3、又は－Ｙ－R_3であり、式中ＹはＣＨ$_2$、Ｓ又はＯで、並びにR_3はアリール又はヘテロアリールであり；
ｎは、０又は１であり；
並びに式中、点線は二重結合の有無を表す、前記組成物。

【請求項２４】

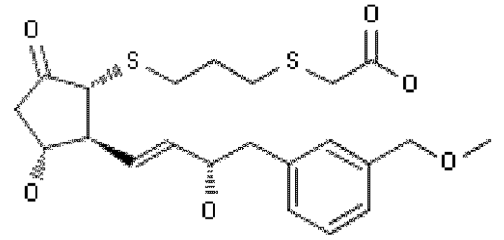
【化８】



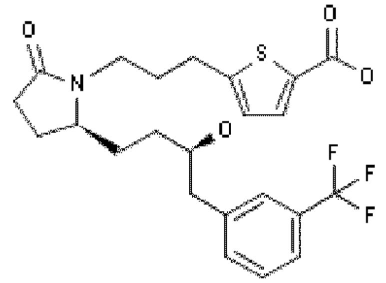
【化９】



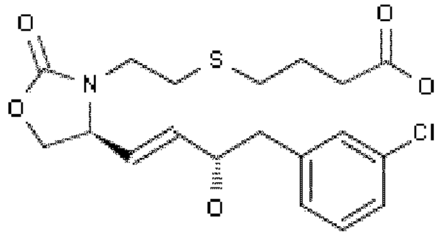
【化１０】



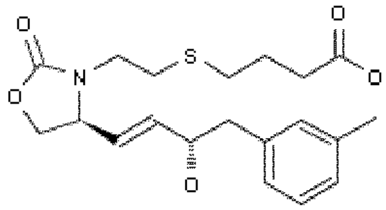
【化１１】



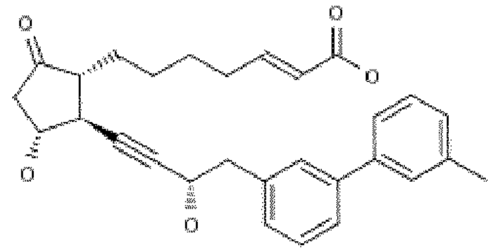
【化１２】



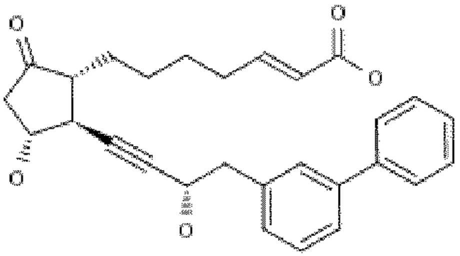
【化１３】



【化１４】



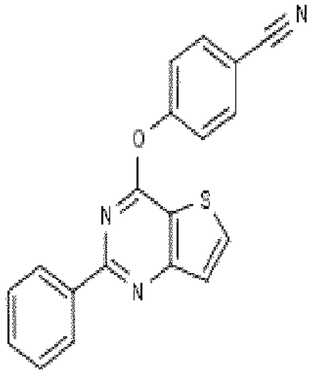
【化１５】



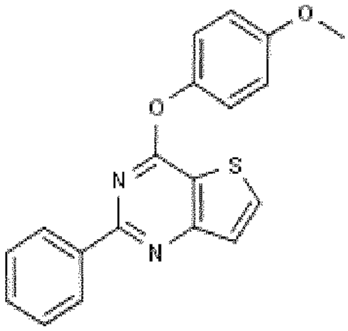
の構造を有する少なくとも１つのＥＰ４作動薬の治療的有効量を含有する皮膚の傷を治療する為の組成物。

【請求項２５】

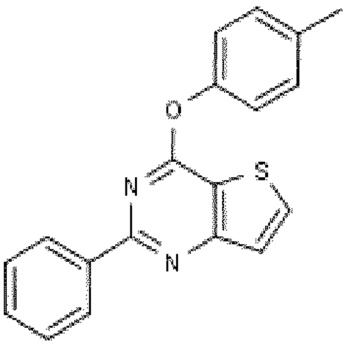
【化１６】



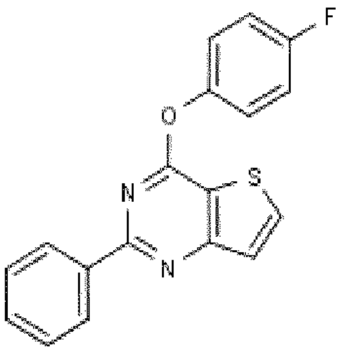
【化１７】



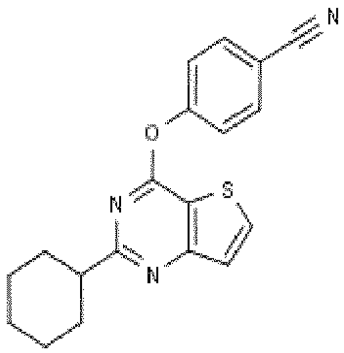
【化１８】



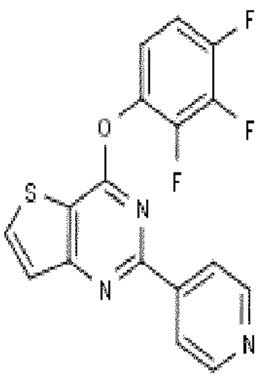
【化１９】



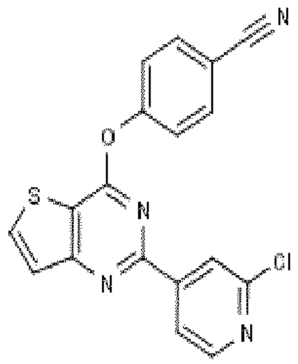
【化２０】



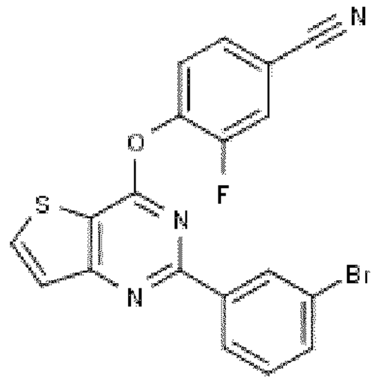
【化２１】



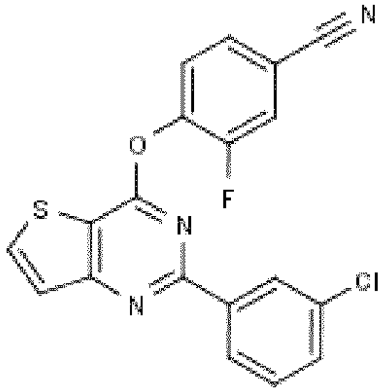
【化２２】



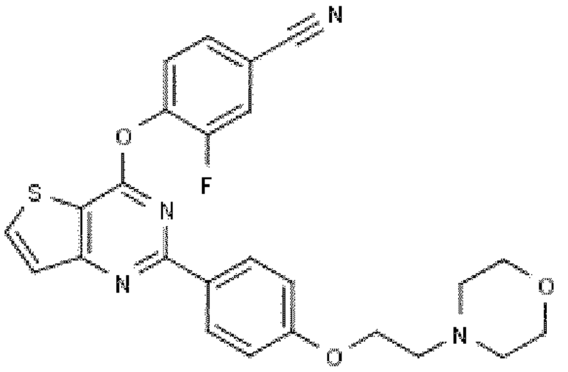
【化２３】



【化２４】



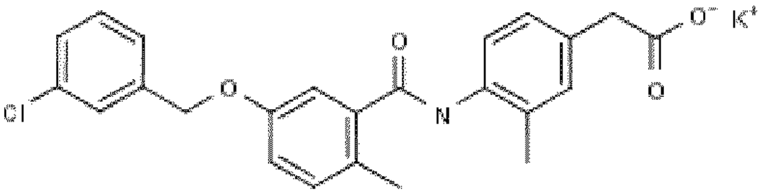
【化２５】



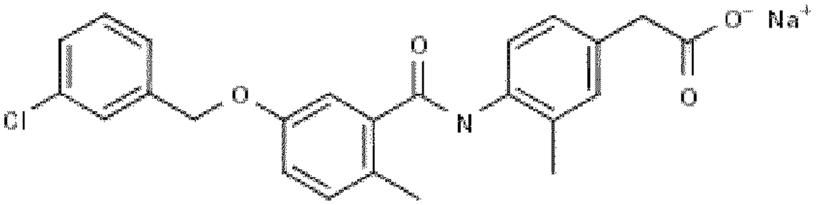
の構造を有する少なくとも１つのＥＰ４作動薬の治療的有効量を含有する皮膚の傷を治療する為の組成物。

【請求項２６】

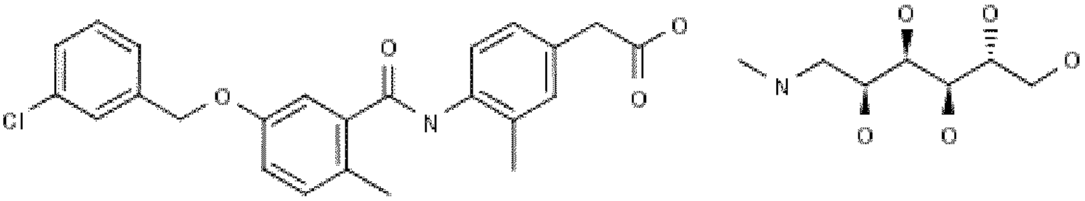
【化２６】



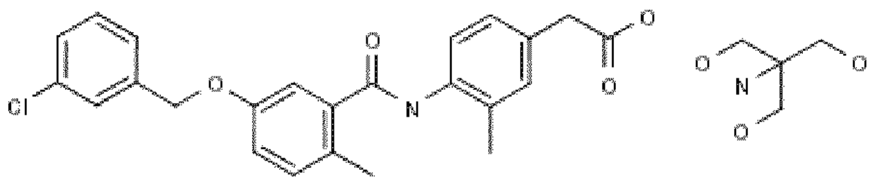
【化２７】



【化２８】



【化２９】

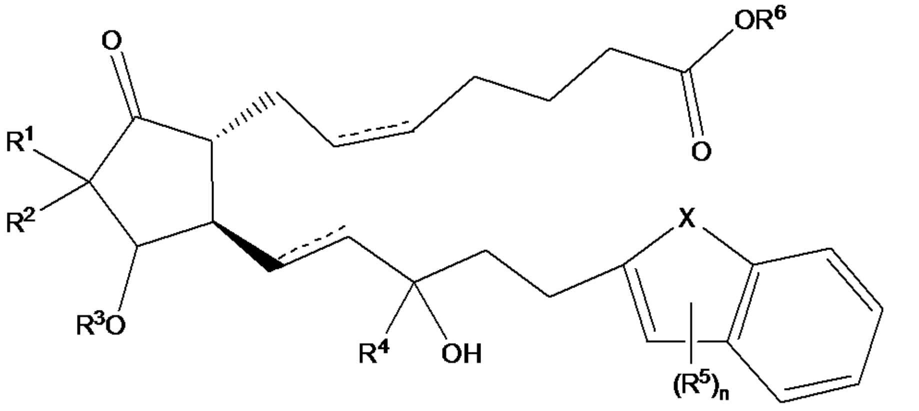


の構造を有する少なくとも１つのＥＰ４作動薬の治療的有効量を含有する皮膚の傷を治療する為の組成物。

【請求項２７】

皮膚の傷を治療する為の組成物の製造の為の

【化３０】



の構造を有する化合物の使用であって、

式中、各点線は二重結合の有無を表し；

R^1、R^2、R^3及びR^4は、各々独立して、Ｈ及びC_1－C_6線状アルキルから選択され；

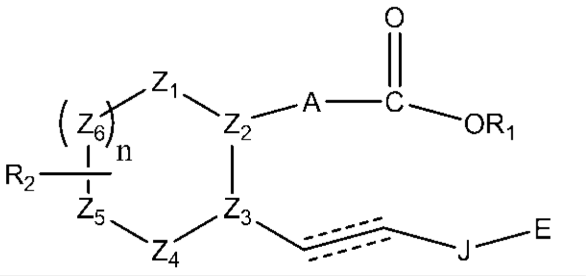
R^5は、ハロゲン、C_1－C_6アルキル、又はC_1－C_6アルケニルであり；R^6は、Ｈ、C_1－C_6アルキル、C_1－C_6アルケニル、その塩、又はそのアミンであり；ｎは、０～７であり；並びにＸはＳ又はＯである；

前記使用。

【請求項２８】

皮膚の傷を治療する為の組成物の製造の為の

【化３１】



の構造を有する少なくとも１つ以上のＥＰ４作動薬の使用であって、

式中、Z_1～Z_6のそれぞれは、独立してＣ、Ｎ、Ｏ、又はＳであり；

Ａは、－$(CH_2)_6$－、又はシス－CH_2CH＝CH－$(CH_2)_3$－であり、式中、１又は２個の炭素はＳ又はＯで置換されてもよく；又は、

Ａは、－$(CH_2)_m$－Ａｒ－$(CH_2)_o$－であり、式中Ａｒはアリーレン又はヘテロアリーレンであり、ｍ及びｏの和は１～４であり、並びに１つのCH_2はＳ又はＯで置換されてもよく；

R^1は、Ｈ、アルキル、シクロアルキル、オキシアルキル、ヒドロキシアルキル、アルケニル、オキシアルケニル、又はヒドロキシアルケニルであり；
R^2は、アルキル、ヒドロキシル、ハライド、又はオキソであり；
Ｊは、アルキル、シクロアルキル、オキシアルキル、ヒドロキシアルキルであり；
Ｅは、C_{1-12}アルキル、R_3、又は－Ｙ－R_3であり、式中ＹはＣH_2、Ｓ又はＯで、並びにR_3はアリール又はヘテロアリールであり；
ｎは、０又は１であり；
並びに式中、点線は二重結合の有無を表す、前記使用。